

## 大型ショッピングモールで歯科医官がステージ講演



大貫2海佐の講演に  
聴き入る来場者



地本マスコットキャラクター  
囲んでイベント参加者と  
大貫2海佐

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 服部3陸佐）は、6月4日（日）、大型ショッピングモール「トレッサ横浜」（横浜市港北区）において、自衛隊横須賀病院の歯科医官（大貫2海佐）が行なったステージ講演を支援した。

本講演は、港北歯科医師会と港北福祉保健センターの共催による「歯と口の健康週間」行事の一環として行われたもので、国際貢献活動や災害派遣などで活躍している同病院の歯科医官の「災害時こそ口のケアが大切であることを区民に伝えたい」の発意から実現したものである。

当日は、ショッピングに訪れた家族連れや歯科医師会員、と歯科技士士会員など約400人が聴講した。

大貫2海佐は、「災害時こそ大切！お口のケアから全身管理まで」と題して講演し、「予防が大事、災害時の健康管理に直結します」「海上自衛隊の艦艇には歯医者さんがいます。災害時には皆さんを助けるために歯科治療室のある艦艇が駆けつけます」「歯医者さんとして南極に行くことができるのは、海上自衛隊の歯医者さんだけです」など、集まった子供たちにも分かりやすく笑顔と優しい口調で語りかけていた。

講演修了後、聴講した歯科医師や子供たちからは、「区民のために今後も自衛隊の歯科医官の方と協力していきたい」「災害時の自衛隊との関わりをイメージできた」「将来は、自衛隊の歯医者さんになりたい」などの声を聞くことができた。

横浜出張所は、「今後も、自衛隊の活動を発信する機会を作りたい、防衛基盤の育成に努めたい」としている。

## 首都圏任期制隊員援護協力企業代表者等の部隊研修を支援 「援護協力企業との関係を強化」



試験艦「あすか」艦上



試験艦「あすか」の説明

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 松田辰雄）は、6月16日（金）、任期制隊員就職援護民間委託会社が招へいする援護協力企業代表者等の部隊研修を支援した。

この部隊研修は、東部方面総監部の依頼を受け、東京、埼玉、千葉及び神奈川の各地方協力本部が毎年持ち回りで担任しているもので、今年度は神奈川地方協力本部が担任し、海上自衛隊横須賀基地の研修を行なった。

当日は、企業19社35名が参加し、海上自衛隊横須賀地方総監部、潜水医学実験隊及び試験艦「あすか」の協力を得て、各施設を研修するとともに、隊員食堂での体験喫食や厚生センター資料室を見学した。

潜水医学実験隊の研修では、潜水艦乗員や海中での作業を行う潜水員の厳しい任務や訓練についての説明を受け、また昼食は基地内の隊員食堂で海上自衛隊の金曜カレーを体験喫食した。午後は、梅雨晴れの眩しい日差しを背に、試験艦「あすか」に乗艦し、主要装備の試験に携わる同艦の任務について研修した。

研修中は様々な質問が飛び交うなど、参加者たちは本研修を通じて自衛隊に対する理解と任期制自衛官の再就職受け入れに対する認識を更に深めた様子であった。

神奈川地本は、「援護協力企業との連携強化に向け、あらゆる機会を活用して今後も継続的に部隊研修を支援していく」としている。